

発行人：齊藤しんじ 横浜市会議員 公明党都筑支部長

平成29年度横浜市予算で市民生活を支える政策実現

齊藤しんじは、平成29年度の予算案に対して、2月24日の本会議において公明党市議団を代表して質問に立ちました。その中で主な項目について紹介いたします。



市営地下鉄利便性の向上について

【グリーンラインのダイヤ改正について交通局長に質問】

○平成29年度末より、平日・休日ともに日中の運転間隔を、現在の10分からブルーラインと同じ7分30秒に短縮。また、休日の始発時間を早め、平日とほぼ同じ時刻に繰上げると答弁がありました。

○輸送力増強に向けた検討：運転間隔の短縮や6両編成化など様々な対応策を検討。早期に方針を決定していくと答えました。

被災地理解のための教育の充実

原発避難者へのいじめ問題が重要な課題として取り上げられる中、①教職員に対して、放射線についての理解を深めるための研修の充実を訴え、②児童生徒に対して、被災地理解のための教育に力を入れるべきと訴えました。

教育長から以下の答弁がありました。

- ①リーダークラスの教員を対象とした、福島県の環境創造センターを活用した研修を実施し、初任者研修において放射線に関する教育の充実を図る。
- ②文部科学省が作成した放射線教育に関する副読本と併せ、福島県教育委員会が発行している、「生きぬく・いのち」、岩手県教育委員会発行の「いきる かかわる そなえる」等を活用して具体的な授業実践を通して被災地への理解を深めていくと答弁しました。

この本会議での質問と答弁については、翌日(2月25日)の読売新聞、朝日新聞の横浜版で報道されました。

上記以外に、地球温暖化対策の推進、災害に強いまちづくりの推進、通学路の安全対策、認知症対策、食品ロス削減の取組、市営住宅の再生、保有資産の有効活用等について質問、要望を行いました。

予算議会・委員会におけるその他の質問等につきましては4月上旬発行のVoiceよこはま第80号でお知らせしますので、活用をお願い申し上げます。

